

大 野 一 心

NO.16

令和4年9月1日（木） 文責：校長 諸熊 修一

学力向上に向けて

4月に実施した県学力調査（3年生：英語 2年生：国語・数学）、市学力調査（1年生：国語・数学）の結果を始めとして、7月末には全国学力学習状況調査（3年生：国語・数学・理科）の結果が公表されました。

新聞報道でもご存じのとおり、全国学力調査においては、長崎県は全ての調査教科について、全国平均に届きませんでした。また、県学力調査においては、佐世保市の平均は国語・数学の調査教科で、長崎県の平均を下回りました。本校でも全国及び県の平均には届きませんでしたので、それぞれの調査における本校と佐世保市との平均の差を比べてみました。

3年生（全国学力調査：国語・数学・理科 県学力調査：英語）

	国語	数学	理科	英語
佐世保市との差	――	――	――	――

2年生（県学力調査：国語・数学）

	国語	数学
佐世保市との差	――	――

1年生（市学力調査）

	国語	数学
佐世保市との差	――	――

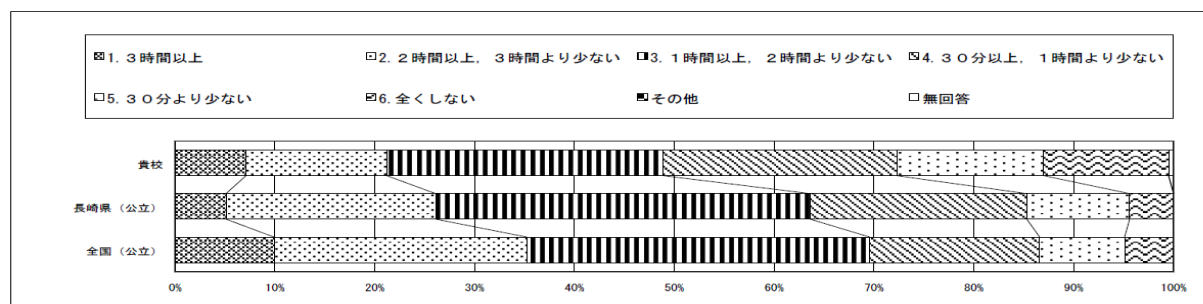
- ◆市の平均をととても上回っている（5点以上）：+++
- ◆市の平均をやや上回っている（3点以上5点未満）：++
- ◆市の平均を上回っている：+（3点未満）
- ◆市の平均を下まわっている：－（3点未満）
- ◆市の平均をやや下回っている：――（3点以上5点未満）
- ◆市の平均をととても下まわっている：――（5点以上）



非常に厳しい結果でした。残念ながら、2年生の数学を除いたすべての教科で平均以下となっています。しかし、経年比較でみた場合は、2年生の国語・数学は1年次の市学力調査では、佐世保市との差はそれぞれ「――」でした。それが今年度は国語が「――」、数学が「+」になっています。3年生についても2年次の県学力調査の国語は「――」でした。それが今年度は「――」になっています。少しずつですが、取組の成果は出てきています。1年生については、4月当初の調査でしたので、主に小学校における学力が問われるものでした。今後の伸びに期待しています。

さて、3年生については、全国学力調査の質問紙で気になる結果がありました。

質問番号	質問事項									
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他
貴校	7.1	14.1	27.7	23.4	14.7	12.5				0.0
長崎県（公立）	5.1	21.0	37.5	21.7	10.3	4.4				0.0
全国（公立）	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9				0.0



（裏面へ）

表（おもて）のグラフは、普段の家庭学習の時間を尋ねた調査ですが、「1時間未満」という生徒が本校では、50.6%で約半数にのぼりました。県の平均と比較しても14.2ポイントの差。全国と比較すると20.2ポイントの差がありました。

4月時点での3年生だけの調査結果だったので、全校生徒に対して、1学期を振り返ってもらい始業式の日「家庭学習に関するアンケート」を実施しました。その結果は以下のとおりです。

学校の授業時間以外に、**普段（月曜日から金曜日）**、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【1時間未満】

	全くしない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	計
3年生	7.8%	8.5%	12.8%	29.1%
2年生	12.2%	18.3%	27.0%	57.5%
1年生	5.1%	12.6%	26.8%	44.5%

3年生は4月の調査よりも1時間未満の生徒の割合は少なくなってきました。受験生としての意識が高まってきていることがうかがえます。2年生については、いわゆる「中だるみの学年」と言われる所以（ゆえん）でしょうか、1時間未満の生徒が3学年の中で一番多い割合です。1年生については、まだ中学校生活に慣れていない側面があるのでしょうか。

いずれにしても、どの学年も普段の家庭学習の時間が不足していることが明らかです。

そこで、以下のスローガンを掲げました。

これまでの家庭学習+30分

2学期始業式の式辞の中で生徒には、「1学期、ほとんど家庭学習をしていなかった人は、30分で構いません。1時間や2時間以上学習をしていた人は、30分だけ伸ばしてください。例えばその30分でタブレットにあるEラーニングをやってみる、明日授業がある教科書に目を通してみる、漢字や英単語をノートに書き写してみるなど、30分あればできることがたくさんあります。『塵も積もれば山となる』です。その30分が積み重なって、必ず学力向上につながってきます。」という話をしました。

学校においても夏季休業中に学力向上に向けての校内研修を行いました。学校では2学期以降以下のことについて、学校全体で取り組んでいきますので、ご家庭においてもお子様の家庭学習の習慣化についてぜひお力添えをお願いします。地域でも「てらこや大野」を立ち上げていただいています。学校・家庭・地域が一丸となって子どもたちを支えていきたいと思ひます。



【2学期以降学校で取り組んでいくこと】

1 「書く力」をつける

学力調査の結果を全職員で分析したところ、「書く力」に課題があることが分かりました。そこで、全教科の授業で、教科の特性に応じて「書く活動」を授業の中に取り入れていきます。

2 全学年で週に1回、朝の時間を使って「コグトレ」や「視写」を実施する（「一心タイム」）

※ **コグトレ**: 学習の土台となる認知機能（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）を「強化するトレーニング」です。

※ **視 写**: 新聞記事等を書き写していきます。文章の構成・表現技法の理解や、速記力・集中力を身につけることを目的としています。